

2月5日

テーマ：「捨てるべきものは一つもない」

聖書箇所：テモテへの手紙第一 4章4節

◆今日のみことば

神が造られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何一つありません。
テモテへの手紙第一 4章4節

◆メッセージ

神さまは、私たちに必要なすべてのものをお造りになりました。太陽や月、夜空の星々、また野山のきれいな花や虫、畑の野菜や果物など。すべては、人間にとって必要なもので、捨てるべきものは何もありませんでした。「神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった」(創世記1章31節)。



しかし、ある人たちは、神さまは「目に見えないお方」だから、「目に見えないもの」だけが聖くて良いものだと考え始めました。そして、「目に見えるもの」は悪いものだと考えるようになりました。そして、「目に見える」食べ物を口にするのを禁じたり、男の人と女の人が結婚することも禁じたりしました。(第一テモテ4章3節)

「目に見えるもの」は本当に聖くないのでしょうか？そんなことはありません。私たちが毎日おいしくいただいているご飯やパン、野菜や肉などを食べなかったら、どうなってしまおうでしょうか。病気になって死んでしまいませんか。



神さまは、私たちに生きていくために必要なものを備えられました。私たちが「感謝して受けるとき」、捨てるべきものは何一つありません。嫌いな野菜があったらどうしますか。すぐに残して、ゴミ箱へ捨ててしまいますか。「神さま、ありがとう」と感謝して、喜んでいただくことができれば、素晴らしいですね。

◆お祈り

「きょうも、神さまが与えてくださる食べ物、飲み物、そしてこの私の体を感謝いたします。あなたの栄光のために用いてください。」

(国外宣教師・ブラジル 浜田献)